



▲鏡割り風景



▲石破議員

▲足立会長

平成31年1月23日(水)正午から、とっとり・おかもやま新橋館2階の「ももてなし家」には県人会員ら80余名が集まり、和やかな歓談風景が展開された。

恒例の東京鳥取県人会賀詞交歓会は1月23日(水)「とっとり・おかもやま新橋館」で80余名が参集、賑やかに挙行された

「今年は平成最後の年で、特別な感



題字/ 故西尾邑次
元名誉会員揮毫

第60号

2019年4月25日発行
東京鳥取県人会事務局
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館10F
電話 03(5212)9178
FAX 03(5212)9079
発行責任者/足立盛二郎
編集/県人会広報部会
http://www.pref.tottori.lg.jp/tokyokenjin

「令和」と元号が変わります。平成から「令和」となる年、本紙は節目の60号を迎えました。



▲朝花美穂さん

「今年には平成最後の年で、特別な感



▲会場風景

写真/中村仁史 文/遠藤隆司



▲新本部長後援 谷長正彦

このたびは東京本部長に就任しました谷長と申します。昨年度は副本部長として県人会の皆様とお付き合いいただき、誠にありがとうございました。...



かわにしよしとさんのまんが似顔絵展は大盛況のうちに閉幕

かわにしよしとさんのまんが似顔絵展(まんが似顔絵市民フォーラム主催)は去る3月23日(土)~27日(水)まで、倉吉未来中心アトリウムで行われ、大盛況のうちに終了した。

倉吉市役所は丹下健三氏の設計だった! 当時は風変わりな設計と



▲筆者の福井さん

2年半前の鳥取県中部地震で被災した倉吉市庁舎。その修復工事に関連して、建設当時の資料が色々と見つかった。...

生田昭夫氏によって資料の集大成が

鳥取県庁や東京都庁舎などの建築に用いられた。この他にも市民が利用しやすい工夫が随所に見え、当時の朝日新聞に「風変わりな設計」という見出しの記事があるのも面白い。

山陰そばをすすめる店 炒端かば (HP) https://robata-kaba.jp/

株式会社 りんがーはつ 代表取締役 千村直美

株式会社リンガート 代表取締役社長兼 CEO 米瀨和英

山陰合同銀行 東京支店 支店長 塚本正志

地方創生はなし《そのII》

すでに6万人が訪れているという新たなスポット 「鳥取砂丘ビジターセンター」

鳥取県にまた一つ、観光スポットが誕生した。鳥取観光といえば、その代表的なものの一つ「鳥取砂丘」があげられるが、いままでは、ただ漠然と茫漠たる大砂丘を目にして「ああ、こんなものか」で済まされたものが、鳥取砂丘のことが丸ごと理解できる施設として、国（環境省）、鳥取県、鳥取市三位一体となって誕生させたのである。

その名は「鳥取砂丘ビジターセンター」、昨年10月に鳥取市福部町湯山にオープンした。だれもが素朴な質問をしたくなるのが、「どうやってこの砂丘が出るのか、それは、中国山地

の安山岩と、鳥取市に流れ込む千代川の働きがあったのである。風化した安山岩は日本海の荒波に洗われ、砕かれあのサラサラした真砂は風によって運ばれ、堆積していったのである。その広さは距離にして東西16キロ、南北2.5キロといわれ西は白兔海岸にまで至る。広さ146ヘクタールというのは、デイズニールランド50ヘクタールの約3倍ということになる。か。河川改修の影響こそあれ、現在も砂丘の形成は静かに進行しているというから、大自然は不思議。

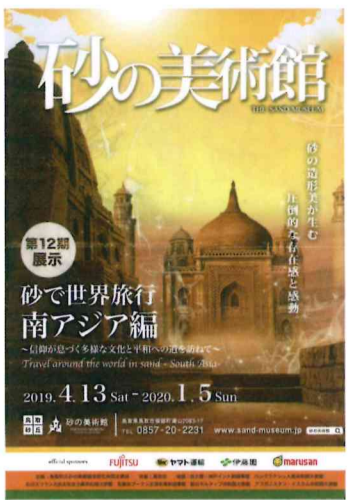
大自然は不思議

鳥取砂丘の生い立ちは遡ること10万年以上前になる。想像を絶する自然の技といえるか、それは、中国山地

砂の美術館は4月13日(土)に「砂で世界旅行・南アジア編」でオープン

鳥取砂丘のもう一つの目玉が「砂の美術館」である。今回、12期目となる。マハトマ・ガンジーの生誕150周年を迎えるインドをはじめ南アジア地域協

力連合加盟のスリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ、アフガニスタンの国がテーマとなる。様々な文化や信仰が



存在する南アジアの世界を歴史的にも貴重な遺跡や寺院をはじめ、その地域に住む民族の暮らしなどをモチーフに、優くも美しい砂の彫刻だけで表現する。会期は来年1月5日(日)までの268日間、50万人の入場者を目論んでいる。

(以上、鳥取市役所経済観光部、記者発表資料参照)

2項共 文・遠藤隆司

今、話題の日本画家 綾木いづみ氏「個展」開催のご案内

鳥取市在住の日本画家、綾木いづみ氏の「個展」が、日本橋「三越」で、開催されます。同氏は、2013年ニューヨーク、マンハッタンで個展を開き、米国民から、日本画の認識が変わったと絶賛を浴び、綾木氏のその時の展示作品(駒を描いた一対の絵)が、米国ワシントン



タイトルは“SYNCHRONICITY VII” (30号S)

橋田邦彦の書を戦争展で展示

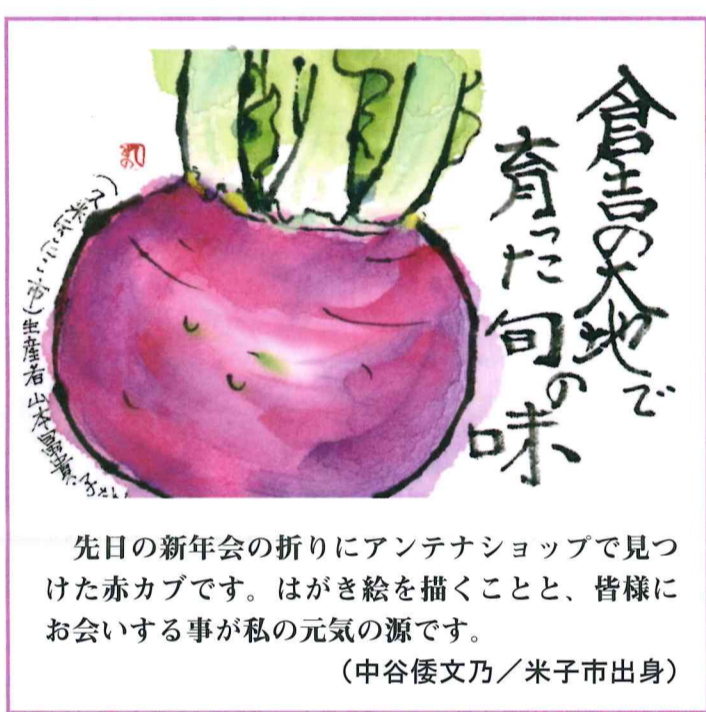
鳥取出身で戦中の文部大臣

昨年8月、品川歴史館で開催した戦争展で、東京鳥取県人会広報担当遠藤隆司氏所有の橋田邦彦(戦中の文部大臣)の書をお借りし

「月はまさに無心に明るい。誰がさびしい鑑を作らせたのか」との意でしょう。と、「和邪悖夫秋懐十首」の3番目にある句です。



橋田邦彦氏 (1882~1945) は鳥取県倉吉市の漢方医・藤田健造の次男で、鳥取中学在学中に長瀬人會会長・福山琢磨



先日の新年会の折りにアンテナショップで見つけた赤カブです。はがき絵を描くことと、皆様にお会いする事が私の元気の源です。(中谷優文乃/米子市出身)

右の写真2点は、今度個展に出品する代表作です。綾木氏は、境高校を卒業後、武蔵野美術学園で学び、現在は鳥取市で制作活動をされています。作品集などの情報には三越のサイトに載りました。個展の開催期間は、5月22日(水)~27日(月)/場所 日本橋三越本店本館6階美術サロン (文 青砥 基)

随想リレー

元号が5月1日から「令和」に変わる。19世紀末から五つ目の元号である。時は早く流れ、近現代史、特に幕末維新の出来事もきのうのことのように見える。

この革命期に鳥取藩は、全国で十指に入る政治、経済的なステータスを保っていた。通商論者の幕府大老・井伊直弼(彦根藩主)を暗殺した1860年の「櫻田門外



今思う、幕末維新に残した鳥取藩の力

東京鳥取県人会・幹事 末次克彦

の変」。帝の詔勅への協力の要請が水戸藩を通じ薩長、越前藩、鳥取藩にあったのが発端だった。この事件で幕府は水戸浪士狩り、攘夷派の徹底取り締まりを図るが、幕府の没落を速めた。

鳥羽伏見の戦い(1868年)に、鳥取藩は薩長土肥に次ぐ上位の大藩(15万石以上、全国15藩)として参戦、勝利している。尊王攘夷への思想的な支えがあったからできたのではないか。維新直後の研究文書では、大藩と中藩(5万石)の財政収支(収入と借金の藩債+藩札)は借金の

た。明治期4キロの水路「新開川」が開削され、米川の水が届かない粗砂の海岸が農地になった。岩美町と会見郡の商人の別々の開発申請を、藩庁の役人が共同開発させたものだ。これで半島の砂地農地は広がり、綿業から養蚕・生糸への転換にも成功した。東部の林業などと共に、鳥取県の農林業は「財政難の明治政府を救った」(司馬遼太郎「街道をゆく」)因幡・伯耆編のである。県民が地域連携と次世代への勇気をもたらす歴史は足元にあると考える。(了)

訃報

相沢英之さん 本会評議員、元衆議院議員。4月4日肺炎のため都内病院で逝去。享年99歳。謹んで心よりお悔みを申し上げます。

TEL・FAX 03-6280-3807
URL https://kabura.gorp.jp/

稲田屋
https://inataya.co.jp
清酒「稲田姫」に出会える和食居酒屋

全国異業種協同組合・連合会協同組合情報サービス
代表理事 永井 幹 (米子市出身)
組合本部 東京都新宿区西新宿3-9-23 電話 03(3376)4783
米子事務所 鳥取県米子市上後藤3-15-1 電話 0859(24)2453

創業明治43年
株式会社 アビ鳥取堂
〒680-0845 鳥取市富安2丁目28番地
TEL 0857-26-1311 FAX 0857-24-4280
http://www.abitori.co.jp/